

長期計画起草委員会

配付資料一覧

平成22年1月16日

	No.	資料名	備考
第1回 (9月12日)	1	小金井市長期計画起草委員会設置要綱	
	2	素案の骨格を考える上での各項目の要約（キーワード）	三橋委員
		第4次小金井市基本構想（素案）前半についての意見	鮎川委員 (審議会資料45)
		長期計画審議会・基本構想（素案）前半への意見	五十嵐委員 (審議会資料46)
		「長期計画審議会・基本構想（素案）前半」について	鴨下委員 (審議会資料47)
第2回 (10月4日)		協働について	渡辺委員 (審議会資料54)
		第4次小金井市基本構想（素案）前半についての意見	玉山委員 (審議会資料57)
	3	第4次基本構想（素案）前半の構成について	三橋委員
		小金井市協働推進基本指針	審議会資料55
		施策の大綱	審議会資料56
第3回 (10月11日)		第4次基本構想・前期基本計画に関する意見	今井委員 (審議会資料63)
	4	市民フォーラムに関する検討事項について	
	5	第4次基本構想（素案）第3章修正案	三橋委員
第4回 (10月31日)	5	第4次基本構想（素案）第2章修正案	
	6	第4次基本構想（素案）第1章・第3章修正案	三橋委員
	7	第4次基本構想（素案）第5章第1節修正案	永田委員
	8	第4次基本構想（素案）第5章修正案	渡辺委員
	9	第4次基本構想（素案）第5章第3節修正案	鮎川委員
	10	第4次基本構想（素案）第5章第4節修正案	玉山委員
	11	第4次基本構想（素案）第6章修正案	淡路委員
第5回 (11月22日)		第4次基本構想（素案）修正案に対する長期総合計画策定本部での意見について	審議会資料69
		第4次小金井市基本構想についての意見	鮎川委員 (審議会資料70)
		長計審への意見	町田委員 (審議会資料71)
		第4次小金井市基本構想（素案）修正案	三橋委員 (審議会資料72)
	12	第4次小金井市基本構想（素案）修正案	当日配付資料
	13	市民懇談会の概要について	当日配付資料

第6回 (12月12日)	14	市民懇談会チラシ	当日配付資料
	15	第4次基本構想(素案)中間報告	当日配付資料
	16	市民懇談会説明資料(案)	当日配付資料
	17	計画の推進説明資料	当日配付資料 淡路委員
	18	市民懇談会の概要について	当日配付資料
第7回 (1月16日)	19	第4次基本構想・前期基本計画の議論の進め方について	当日配付資料 三橋委員
	20	第4次基本構想・前期基本計画(素案)の総論について	当日配付資料 三橋委員
	21	第4次基本構想・前期基本計画(素案)の「環境と都市基盤」について	当日配付資料 五十嵐委員

第4次基本構想・前期基本計画の議論の進め方について

- 基本計画は市の全ての施策が総合的・計画的かつ基本構想より具体的に盛り込まれているという点で、市民生活により直結する重要な計画である。
 - 第4次基本構想・前期基本計画は、第3次基本構想・後期基本計画に比べて、現況と課題がより詳しく記述され、「成果指標」や「主な事業」などが追加されたことは評価できる。
 - 一方で、「検討」「整備」「推進」等の言葉の使い分けや、行政用語等が多く用いられ、また、3次から記述が変わっていないものも多く、記載内容の一つ一つを見ていくと、市民には理解しにくい点もある。
 - 審議会(起草委員会)においても、市が出されている素案の全ての施策を理解し、検証することはかなりの労力を必要とし、現実的には難しい。
 - また、市民にとって知りたいこと、基本計画で伝えるべきことは、基本計画を実行することで「**何が変わるのか(ビジョン)**」「**実際に実現できるのか(実現可能性)**」という市民の素朴な疑問に対して、可能な限り具体的な回答(市の施策等)を示すことであり、かつ基本計画を示すことで、将来像の達成に向けて、市民の自発的な行動(参加と協働)を促すことに意義がある。
- 以上を踏まえて、基本計画の各論の議論の進め方としては、以下の点を重点的に議論し、とり進めることを提案したい。

①「現況(特徴)と課題」が市民ニーズと乖離していないかの検証

→最も大事な議論の出発点。

個別の議論だけでなく、将来像(ビジョン)や重点政策(重点プロジェクト)への貢献度合いも重視する。(基本構想との整合性も要確認)

②「成果指標」を「活動及び成果指標(仮称)」とし、定性的な目標も含めたうえで、「活動及び成果指標(仮称)」が実現されることで、特徴を伸ばし、課題が解決するかの検証

(注)

「活動及び成果指標」はあくまで「現況と課題」を解決するために設定するものであり、指標そのものの達成が目的ではない(指標達成はそのまま〇×の評価になるのではなく、評価の際の参考値とすべきものである)。むしろ、指標を策定にあたっての議論の過程や指標の達成を目指す中で、行政活動の透明性が確保され、参加と協働がより進み、私たちの満足度や納得感が高まることの効果を期待して設定するものである。

* 「活動及び成果指標」は「現況と課題」を踏まえつつ、可能な限り主な取り組みの各分類ごとに一つは、盛り込まれるようにしてはどうか。

③まちづくりの基本姿勢、特に「参加と協働」の視点が十分に取り入れられているかの検証

④主な事業は「現況と課題」の解決及び「活動及び成果指標」の達成に必要なかつ十分なものか。

⑤実現可能性の検証

財政、実施年度等の検証（特に「活動及び成果指標」を達成するために必要な予算、主な事業に記載されているものの予算及び実施年度の検証）

⑥費用対効果（及び無理・無駄はないか）の検証

→金額規模の大きい事業と「活動及び成果指標」との関係

→（主な取り組みのうちの大部分を占める）第3次からの引き続き記載されている内容の検証（無理・無駄はないか）⇨第3次の評価の実施

尚、より完成度の高い（透明性・納得感の高い）基本計画とするためには、前回事務局から説明があった通り、今後は各部局とのやりとりが大事となる。上記内容を起草委員会で検討し、素案の修正意見等がまとまった場合には、委員会後事務局経由で各部局に直ちに確認いただき、回答を更に会長（起草委員）が確認し、可能な限り次回の審議会までに修正意見等に対する結論が出せるような仕組みが必要。

以上

第4次基本構想・前期基本計画(素案)の総論について

第1章 基本計画の目的と策定意義・役割

私たちは、市民のしあわせを増進することを目的に、社会潮流と市の現状(主要な特徴及び課題)を踏まえ、「みどりが萌える・子どもがそだつ・きずなを結ぶ 小金井市」を10年後(平成32年)の将来像とした第4次基本構想を策定しました。第4次基本構想においては、(将来像の実現に向けて)「市民生活優先のまちづくり」「参加と協働によるまちづくり」「総合的なまちづくり」の3つをまちづくりの基本姿勢とし、重点政策と施策の大綱を明らかにしています。

この基本構想の(将来像の)実現に向け、基本計画では、重点政策に基づいて重点プロジェクトを設定し、施策の大綱更に分類したうえで、各分類ごとに現況と課題を明らかにし、施策等を具体化・体系化しています。基本計画は総合的かつ計画的な行政運営の基本となるもので、具体的には次のような役割を持っています。

第2章 枠組み

1. 計画期間
2. 将来人口
3. 財政計画(財政フレーム)

第3章 計画の概要

- 1 計画の構成
- 2 施策の大綱→基本構想と重複しているが必要か???
(「4つの目標」とするのであれば、「～目指す」という表現にすべき)
- 3 重点プロジェクト
- 4 計画の推進

第 4 次基本構想・前期基本計画 (素案)

「環境と都市基盤」についての意見

- 17P (4) リサイクル・・・の 3 点目・リサイクル可能な缶、ビン・・・と 4 点目・プラスチック系ごみなど・・・
これはすでに行っていることなので、「資源ごみ収集の更なる徹底を図ります。」とまとめても良いのではないのでしょうか。
- 2. ごみの処理の (1) 国分寺市との可燃ごみの共同処理の推進 と (2) 可燃ごみ処理施設の整備 はまとめても良いのでは。
例えば

(1) 可燃ごみ処理施設の整備 として、その中に、安全かつ長期的・安定的な可燃ごみ処理を行うため、国分寺市との可燃ごみ共同処理に向け、共同で施設建設事業を図り、一部事務組合の設立を目指します。
--

としたら、いかがでしょうか。
他の項目はそのままとしても。
- 20P 下から 4 行目「ライフスタイルの転換を呼びかけ、」とすべきでは？
- 24P 下から 4 行目 (4) 高架下利用の推進 の最初の項目・JR 中央本線連続立体交差事業の完成による、南北一体の街づくりと南北交通の円滑化・・・としたらどうでしょうか？
- 26P の「1 良質な住宅の供給」ですが、現在やっている事業の継続は、簡潔にまとめ、新規事業は項目として起こすというような整理をしたらどうでしょうか？
- 31P の道路についても上記と同様な考えを持ちますが、特に、2 人にやさしい交通環境の整備 (1) バリアフリー化の推進 の 1・2・4 項目はまとめられるのではないかと思います。
- 32P 真ん中辺 (3) コミュニティバスなどの充実は異論があります。 最初に導入したときの交通不便地域をすでにカバーしているのではないですか？
最終的には赤字でやっている事業ですので、何を根拠に「市民のニーズに対応し、より便利で利用しやすく」というのか良く分かりません。
- 32P 下から 4 行目 野川の更なる充実というのは、今の東京都の自然再生計画を踏まえて、もっと自然に、という意味ですか？